

| | 長岡平野 西縁断層帯 | 新津断層 | 月岡断層 |
|----------------------------|--|--|--|
| 地震の規模: モーメント マグニチュード | 7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当) | 6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当) | 6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当) |
| (参考※) | 平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度 | 明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。 | 平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度 |

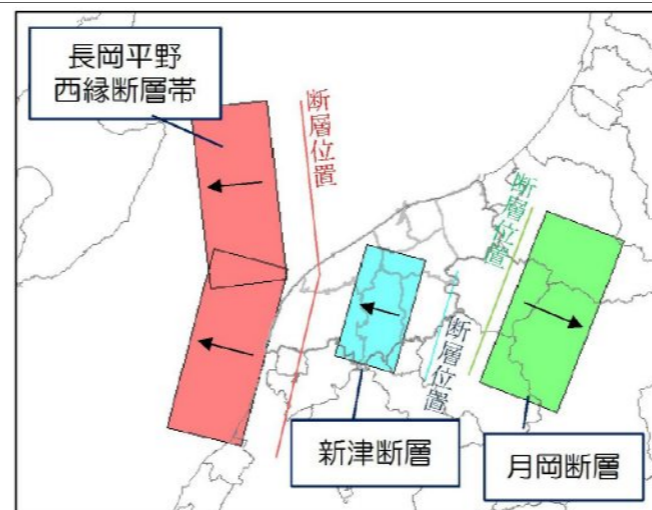
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

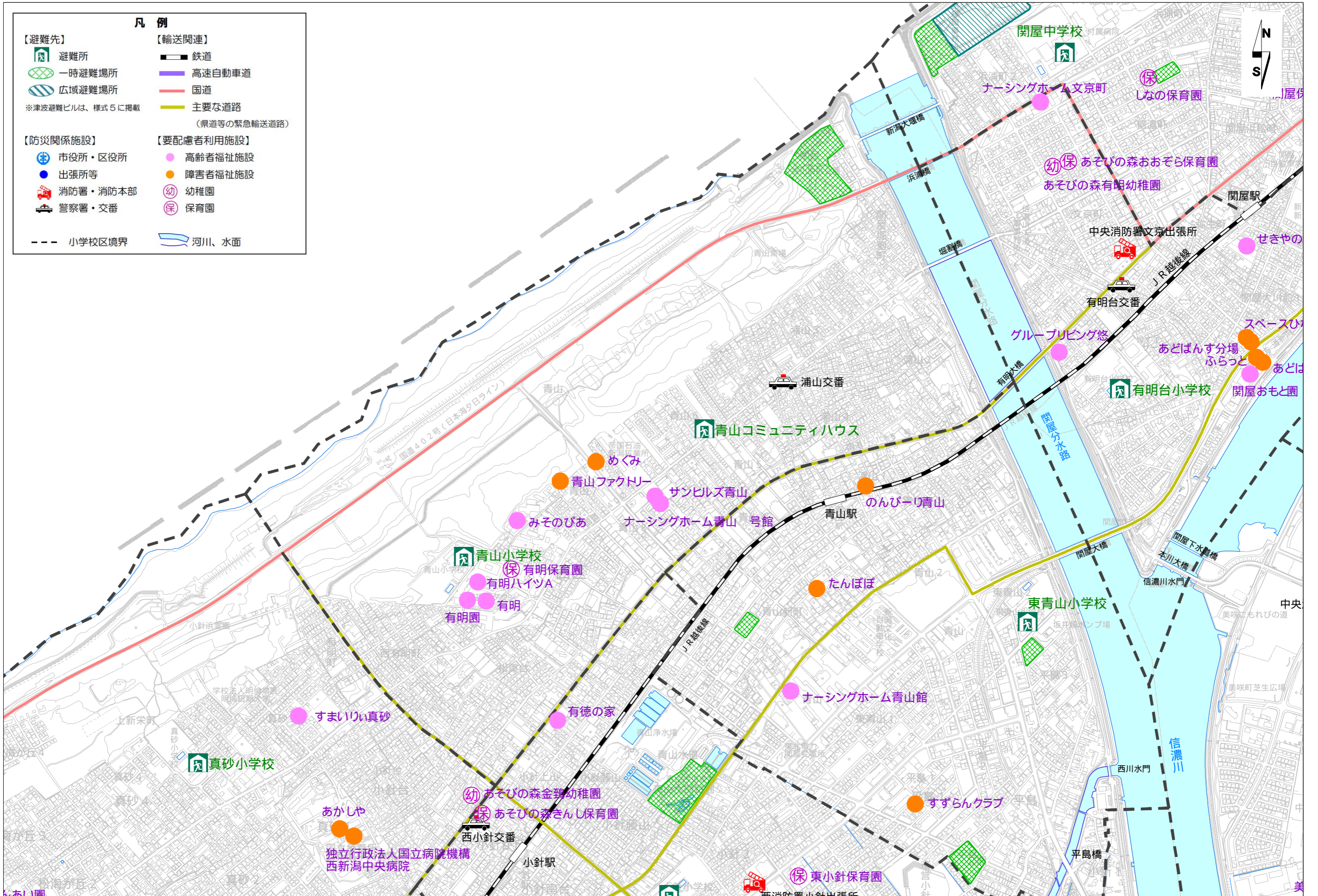
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



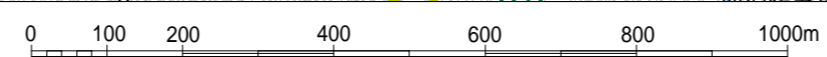
← は、断層の傾きを示しています。

様式3 防災地図

青山小学校区



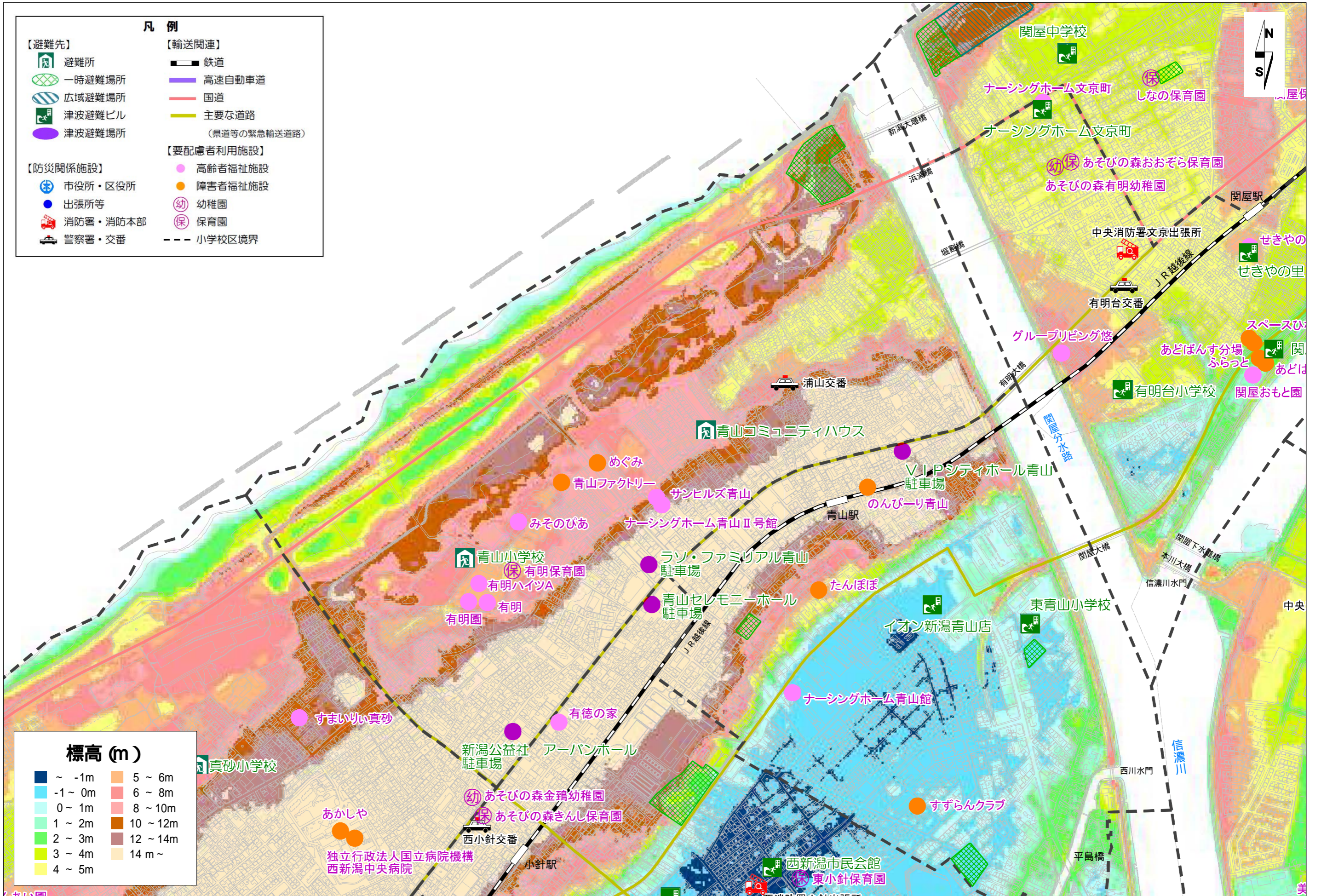
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



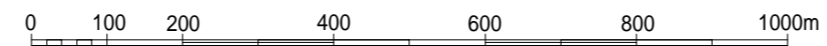


様式5 標高分布図

青山小学校区

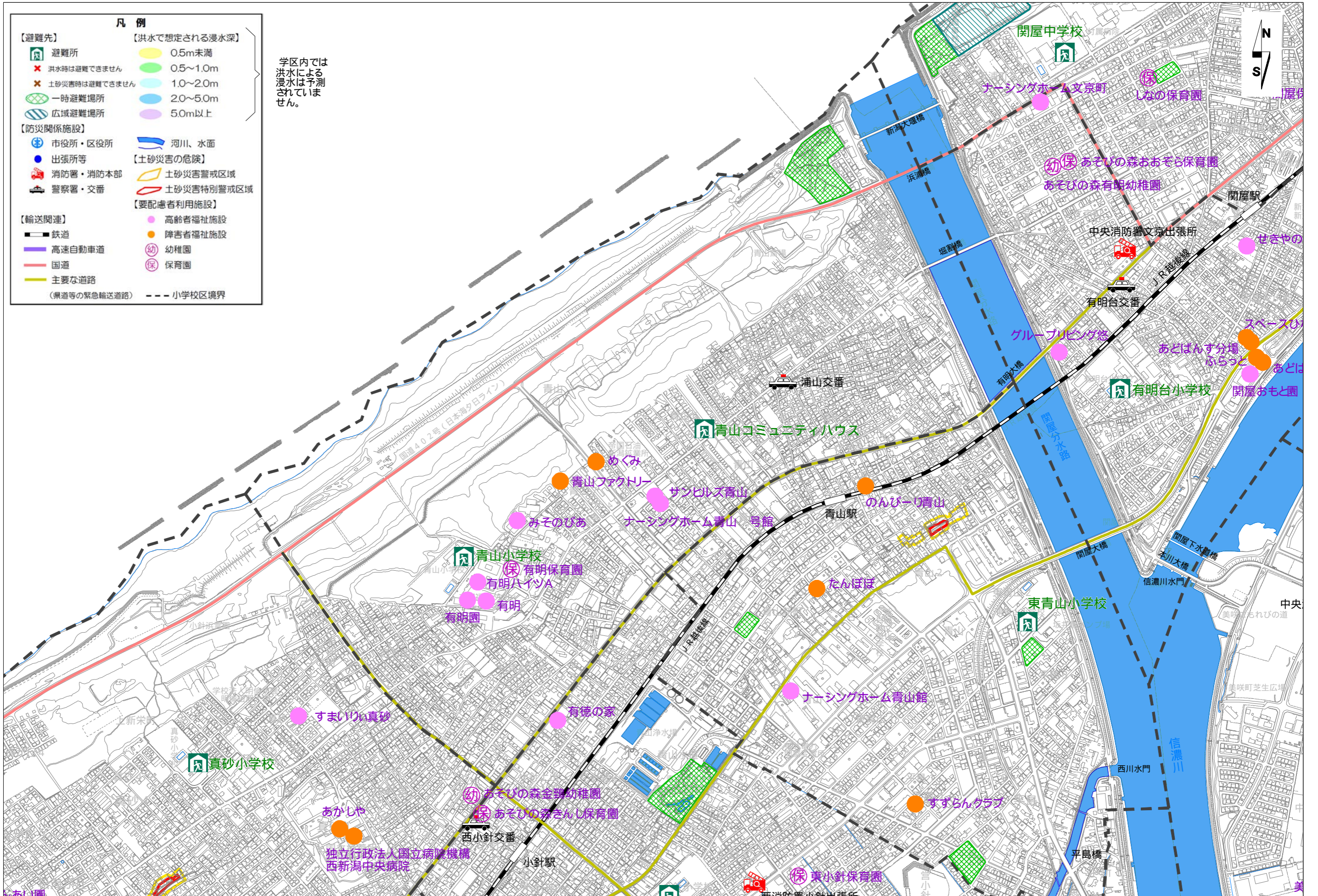


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



様式6 風水害（洪水・土砂災害）対策地図

青山小学校区



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

